

釧新郷土芸術賞に輝く

受賞者の横顔

□下□

数々のコンク

ールで入賞

「いつも皆さんと気持ち一つにして良いものを作

り上げていく」という思い
でやってきました」と中野
さんは、受賞の喜びを語る。
昭和四十九年に道教育大学
釧路校音楽科を卒業し、厚

その間、合唱、吹奏楽部

岸真龍中、同潮見高校、釧
路北高校、昨年四月からは
釧路北陽高校の音楽教諭を
勤めてきた。

指導や指揮に力を注ぎ、例
えば釧路北高校時代は、平
成二年から九年間連続で全
道吹奏楽団体コンクールに
出場、金・銀・銅賞を受賞。
続く北陽高校でも同コンク



音楽(指揮)

中野 国韻さん(48) 釧路市芦野5の7

ールで銀、そして今年八月
は銅賞に導いた。そのほか、
全道アンサンブルコンク
ール、全国学校合奏コンク
ール、高校文化連盟音楽全道
大会、北海道マーチングフ
ェスティバルなどで、地元
の吹奏学部を数々の入賞に
押し上げ、その指導手腕は
折り紙付き。

つらい体験が 人生の支えに

両親も教員だったので、
自らも教員を志したとはい
え、音楽志望を決めたのは
阿寒高校二年の時、比較
的遅かった。道教大釧路校
の卒業演奏は合唱指揮。そ
の後の釧路北高で初めて吹
奏楽部の発足に携わり、以
降は合唱と吹奏楽の両方を

指導手腕に高い評価

気持ち一つに“良い音”追求

手掛けるようになった。「部
活は、人と人のかかわり
から始まる。もっと良い音、
良い演奏があるはず、とい

高文連全道大会で北高校
が最優秀賞、そして翌年名
古屋市で開催された全国高
校総合文化祭への出場。「子
供たちと名古屋のステージ
に立った時の感動は忘れら
れない」という。「今の子供
たちは面倒なことやつらい
ことからは逃げたがる傾向
が強い。しかし、つらくて
も努力した体験は、後の人
生の支えにもなると思う」。

全日本吹奏楽連盟北海道
支部と釧路地区吹奏楽連盟
の理事長。また釧路の合唱
団コール・カンパニーの
指揮者、フェニックスコン
サートin釧路の合唱指揮、
今年はPMFオーケストラ
と「惑星」(ホルスト作曲)
演奏での合唱副指揮者。平
成四年からは釧路地区合唱
連盟副理事長も務め、釧根
管内団体などの指導にも奔
走してきた。

う毎日の中から、音楽の面
白さや魅力をいかに知って
もらえるかですね」。

「仲間と一緒に何かを作
ることしかできない。頑張
っている人にアドバイスし
たり、それが自分の務めか
など思っている」と言う。
大好きな趣味の川釣りはヤ
マベ釣り。年二、三回では
足りないが残念そう。

「指揮の振り方一つで表現がすっかり変わってしまう」と中野さん